

令和7年度の重点課題

○日頃から運動に親しんでいる児童と運動に自信がなく無関心な児童とが、二極化している。特に習い事をしている児童とそうでない児童との差は大きい。

○全体的に運動量が減り、子供たちの体力は低下していると考えられる。R7年度の結果を見ると女子の「握力」「ボール投げ」が県平均値かつ全国平均値より低い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○体育の授業では、集団規律を徹底させ、指示を早く運動量を確保できるように指導した。
○全体的な筋力の向上等を図るために、握力グリップを活用したイベントや、遊具を使ったサーキット運動を取り入れていき、体力向上を図った。
○持久力の向上を図るため、授業の中でなわとび運動を積極的、持続的に実施した。
○「外遊び週間」など、運動に親しめる機会を増やす取り組みを体育委員会を中心に学期ごとに行った。

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.12	18.70	34.30	42.93	47.19	9.10	156.84	22.12	54.05	第5学年	14.64	16.83	36.40	40.57	29.68	9.55	152.04	11.51	52.60

県平均値かつ全国平均値未満

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和8年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

「R8年度の県調査結果が判明した後、最新の情報を公表します。」

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	75.00	12.50	8.33	4.17	第5学年	66.07	19.64	10.71	3.57

重点課題

情意面での課題

○男子
・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることに嫌い、やや嫌いと答えた児童の割合が12.5%である。
○女子
・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることに嫌い、やや嫌いと答えた児童の割合が14.28%である。

体力面での課題

○男女ともに「握力」「上体起こし」「20mシャトルラン」は県平均値かつ全国平均値より低い。また女子は「長座体前屈」「ボール投げ」にも課題があった。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○体を動かすことの楽しさが味わえるように毎時間の始めには、授業の内容を踏まえた、「運動遊び」を積極的に取り入れる。
○握力の向上を図るため、授業の中でサーキット運動を積極的、持続的に実施する。
○握力グリップ等を活用しながら、個人で継続的に練習し、その成果を実感できる機会を設け、楽しく体力づくりができる取り組みを続ける。

体育の授業以外で行う取組内容

○各学級で外遊びや体育館遊びを取り入れ、積極的に外遊びができる環境を整える。
○体育委員会を中心に、イベントを学期ごと継続的に開催し、児童がボール運動や走・跳の運動に意欲的に参加できる機会を増やす。
○「体力アップカード」などで遊具等を用いながら、個人で継続的に練習し、その成果を実感できる機会を設け、楽しく体力づくりができる取り組みを続ける。
○体育委員会を中心に、なわとびを使ったイベントを休憩時間等に行い、体力の向上につなげる。

令和9年度の重点目標値

○積極的な外遊びを通して、運動に親しむことができる児童の人数を増やす。
○「握力」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
○「20mシャトルラン」を県平均値かつ全国平均値以上にする。